

# アユの産卵場づくり 2年目の成果は？

～猪名川流域のアユの産卵場の調査を実施しました～


～猪名川河川事務所～

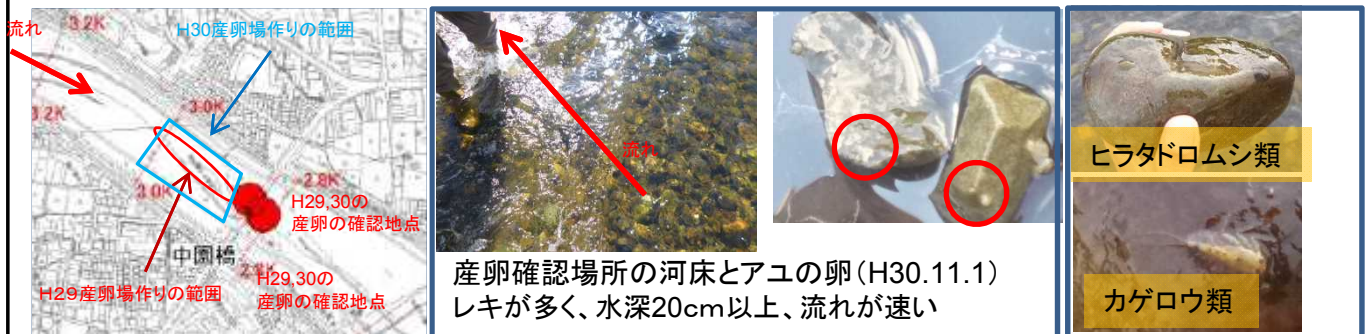
平成30年10月14日に実施した『2018猪名川流域のアユの産卵場づくり』の効果について、実際にアユが産卵しているかどうかを、藻川漁業協同組合、猪名川河川事務所職員で調査しました。流域の皆様と2年間続けてきた取り組みの成果を報告します。

## 概要

- 日 時：平成30年11月1日(木)、7日(水)、22(木)
- 場 所：兵庫県尼崎市田能 中園橋付近
- 内 容：産卵場づくりの結果調査
- 調査団体：藻川漁業協同組合、猪名川河川事務所

## 調査結果

	産卵場作り(H29.10.15)	産卵場作り(H30.10.14)	産卵調査(H30.11.1、7、22)
全景			
状況	水深はほとんどが15cm程度。深いところで40～50cm。流れの速いところがある。	水深はほとんどが15cm程度。深いところで30～40cm。流れの速いところがある。	全体的に10～15cmのところが多い。流れは緩やか。



調査結果は次のとおりです。

- アユの卵は、産卵場づくりを実施した場所では確認できませんでしたが、そのすぐ下流の瀬で確認することができました。今年はアユの産卵時期(10～11月)の河川流量が少なかったため、産卵場づくり実施場所は浅く、流れの緩やかな状態に変化していましたが、すぐ下流の瀬ではこれまでに耕した場所を含む上流側からのレキの供給により、アユが産卵しやすい河床の柔らかな状態が維持されていたためと考えられます。
- 産卵場づくりを実施した場所では、カワゲラ類やヒラタドロムシ類、カゲロウ類などの水生昆虫が多く確認できました。これも、今回耕したことで川底の石の隙間が増えたためと考えられます。
- 耕すことで川底のレキを動きやすい状態(石の隙間の多い浮き石状態)にしておけば、アユ以外の生物(水生昆虫)の環境にも良い影響を与えるといえます。流域の皆様、これからもご協力、よろしくお願いいたします。

## 【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局 猪名川河川事務所 工務課  
〒563-0027 大阪府池田市上池田2-2-39 TEL 072-751-1111 (代)

